

独立自尊

大阪府立堺東高等学校
47 期生 学年団
2018. 6. 28 発行

* 前期中間考査成績配付しました！

本日、成績を返却しました。この成績はテストの素点だけでなく、平常点も入っています。高校生になっての最初の成績はどうでしたか？ スケジュール手帳の「考査振り返り」を利用しながら、これからの授業、学習に生かしましょう。点数や順位を見て、一喜一憂するのではなく結果をきちんと自分で分析しなさい。良かった科目はきっと自分で勉強するスタイルが定着しつつあるのででしょう。この調子で頑張りましょう。そして悪かった科目はどこが悪かったのかしっかりと見つめることが大切です。勉強のやり方とかわからなければ教科担当の先生や、その科目の得意な友達に聞きなさい。6月14日から期末考査に向けての授業が始まっています。試験が大切なのはもちろんですが、成績には提出物、出席状況、小テスト、授業での取り組みなど全てが評価されます。苦手な教科も平常点で欠点をカバーすることもできます。

本校は留年がないかわりに不認定科目をそのまま学年が上がっても持ち上がり、最終的に卒業の際に困った状況（卒業できない）になります。**次の考査で前期の評定が確定します**。評定は奨学金、進学する際の推薦、就職などでとても大切です。また出席状況も看護学校の推薦、就職試験等ではとても重要なポイントです。体調管理もしっかりと行いましょう。

☆**授業を大切にすること！ 学年全体で勉強する雰囲気を作ろう！ がんばれ47期生！！**

* スケジュール手帳上手く使えていますか？

きちんとスケジュール手帳を自分のものにして活用できている人もいれば、残念ながら何も書いていないとか、忘れてきてメモが取れていない人もいます。本校は2年次になると、生徒1人1人様々な時間割となります。同じ科目でもクラスのみんなで受けるわけではないので課題、小テストの日程などを自分で管理しなければなりません。今のうちからきちんと自分の予定を書いて把握するようにしましょう。この手帳には「**面談シート**」もあります。**12日から始まる保護者懇談のときも持参してメモをとるように意識しましょう**。別冊の「活動記録BOOK」に学校行事、講演会のメモ、部活動の記録などを書く欄があります。大学入試や、面接試験などで必要となります。**進路に向けて記録を残すことが大切になります。今日から意識して手帳を開いてメモをとり、1日を振り返りましょう！**

* 評定について *

80点以上 5 70点以上 4 50点以上 3 40点以上 2 39点以下 1

* 今後の予定 （変更になる場合もあります。）

7月 5日（木）	午前中1限～3限・授業 午後人権講演会（ビッグアイ） 13時15分集合・出席点呼完了→感想文9日（月）締切
12・13・17・18・19日	授業公開・午後保護者懇談会 時間割が変わっている日もあるので各自で確認！
13日（金）	堺支援学校交流会 各クラス交流委員は堺支援学校へ行きます。
20日（金）	午前中2時間授業・集会・大掃除 午後 第1回オープンスクール
26日～8月8日	オーストラリア語学研修
8月 19日（日）	河合塾模試（大阪府立大学）←希望者
8月 23日（木）	集会・LHR（スタサポ学習状況リサーチ）・B週木2の時間割
29日（水）	スタディーサポート（3科目）←夏休みにしっかり勉強しておこう！
8月23日～9月5日（水）	短縮授業 短縮授業の際、時間割が変わっています。HR教室に掲示している「前期期末考査までの授業計画」で各自確認しなさい。
9月 6日（木）	文化祭前日
7日・8日	文化祭
11日（火）	文化祭代休
12日（水）	前期期末考査1週間前
19日（水）～	前期期末考査

* 盛り上げよう！ 高校最初の文化祭！

先週から文化祭のクラス企画について話し合いをしています。3年生は体育館で全クラス劇で各クラス脚本を書いたり、配役を決めたりしてすでに準備を始めています。教室でクラス企画を行うのは1年生がほとんどです。校内の文化祭を盛り上げるのはみんな次第です。準備も楽しみながら、人任せにしないで、積極的に取り組んでください。本校の学校行事は生徒主体です。それが堺東高校のすばらしい伝統です。**それぞれのクラスで工夫してOnly oneのものを！**

* 夏休みに大学・専門学校のオープンスクールに行ってみよう！

夏休みまで1ヶ月になりました。入学してからいろいろなことを経験したと思います。本校では夏休みに探求の課題としてオープンスクールに参加し、レポートを提出することになっています。オープンスクールに参加することで自分の進路を考えることができます。自分でいつどこに行くのか今から計画を立てておきましょう。（裏に前期中間考査度数分布）